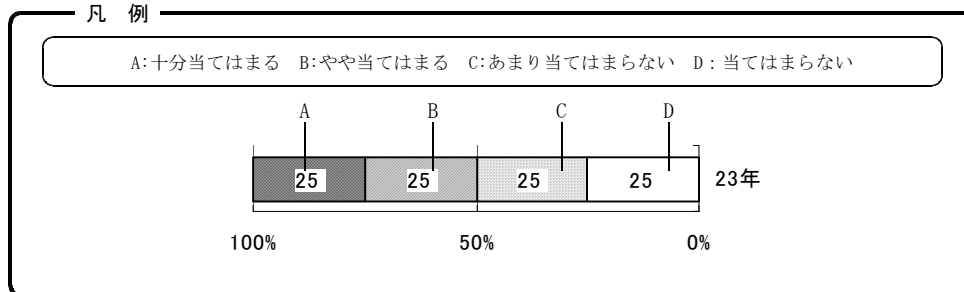


平成 23 年 度 学 校 評 価 (生 徒) 調 査 結 果

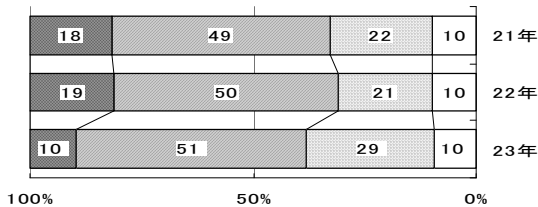
平成24年1月30日

本校の教育活動の充実と改善を目指して、生徒の自己評価を含む学校評価を11月に実施しました。

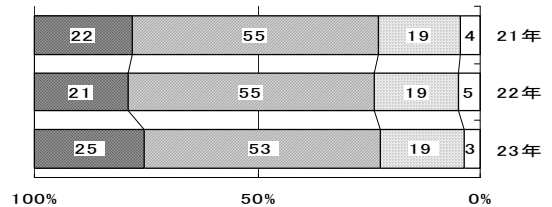
本校は開校3年目を迎えました。草創期の開校からの3年間を経年で比較して、生徒の実態を把握しながら教育活動に努めてきました。3年間の推移をご報告します。



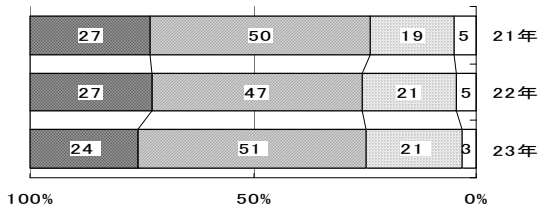
1. 学習時間は楽しい



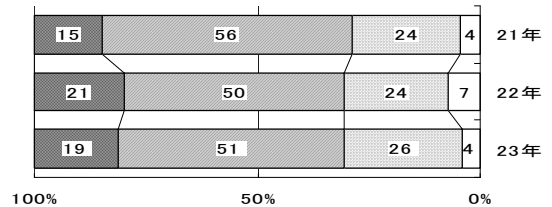
2. 先生の教え方はわかりやすい



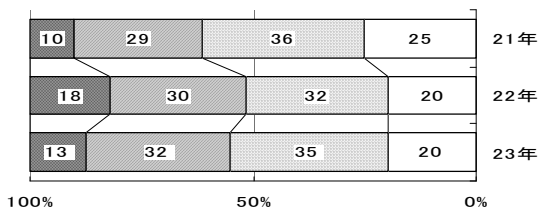
3. 毎日の授業を大切に学習に取り組んでいる



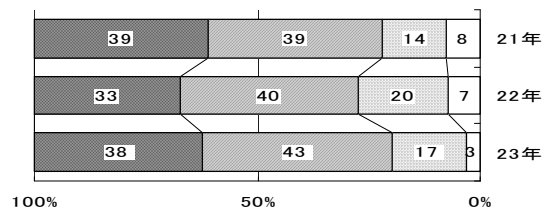
4. 各教科の基礎的・基本的な力が身に付いてきた



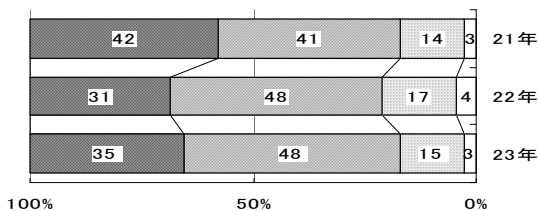
5. 家庭学習を毎日行い、授業の予習復習を行っている



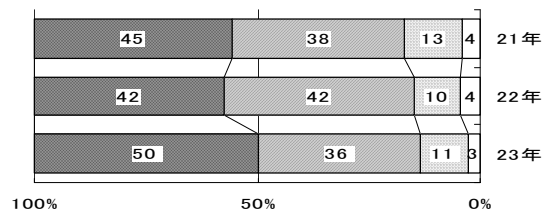
6. 校外を問わず、さわやかに挨拶することができる



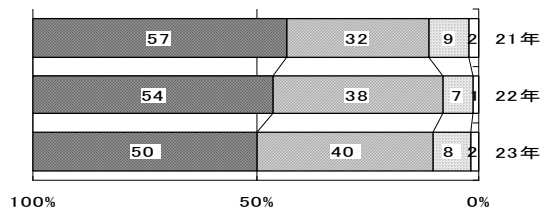
7. 自分はきまりを守って生活している。



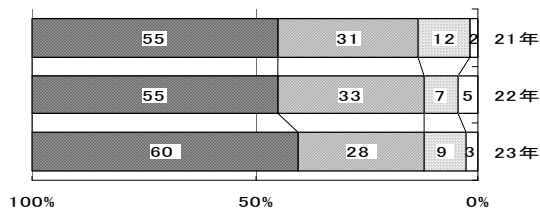
8. 先生や目上の人に対して適切な言葉づかいができる



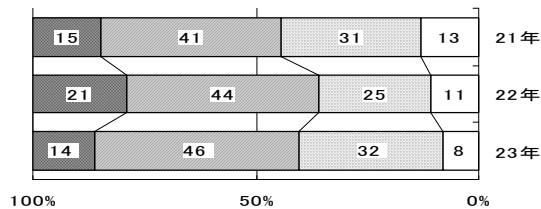
9. 清掃活動や給食当番など自分の役割を十分果たしている



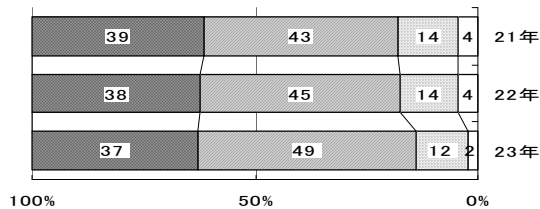
10. 人の役に立つ人間になりたいと思う



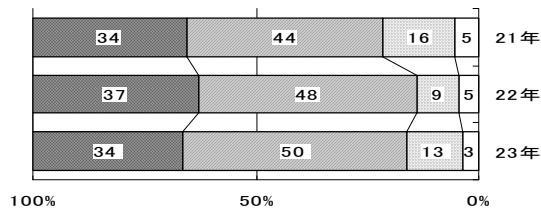
11. 学校目標や開校の理念を意識して生活している



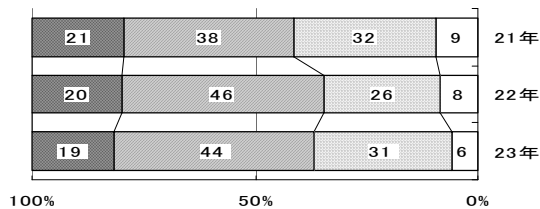
12. 学校行事は生徒会を中心に活発に実施されている



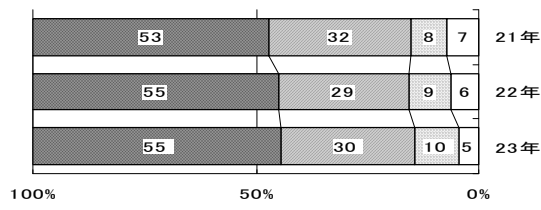
13. 生徒主体の常任委員会活動がおこなわれている



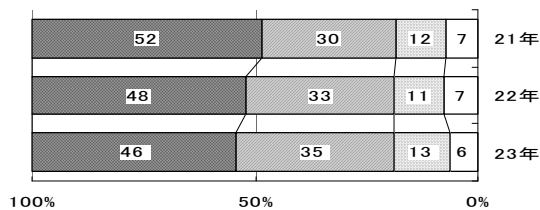
14. 学級会で活発な話し合いがなされている。



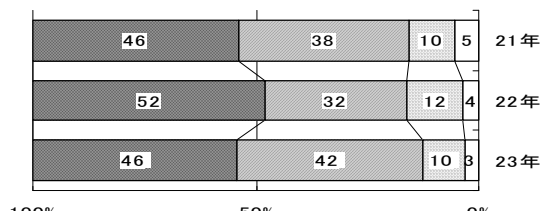
15. 部活動は活発に行われている



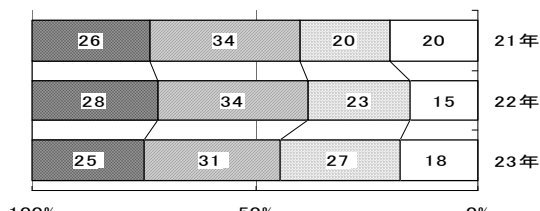
16. 学校は楽しいと思う



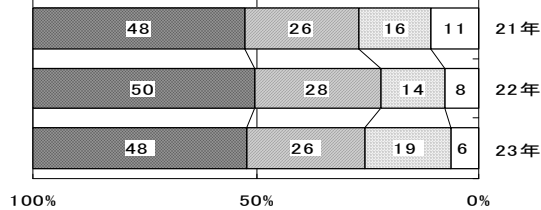
17. 「いじめ」をしないよう、させないよう心がけている



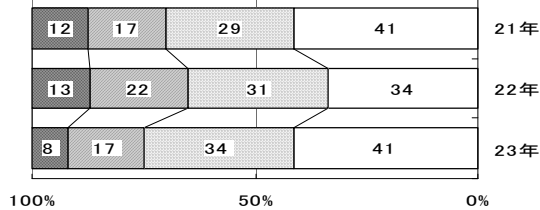
18. 困ったときに相談できる先生がいる



19. 将来に対する夢や目標がある



20. 休みの日は地域行事に参加し、地域の人と交流することがある



3年間の推移を見ると、挨拶やきまりを守る意識や人の役に立ちたいなど倫理観の高い意識が伺えます。反面、家庭学習や授業に取り組む姿勢に課題があります。以下、項目に従って結果を記述します。

《学習習慣の確立が急務》

毎日の授業に対する取り組みは一部の生徒に課題があるものの、概ね一生懸命取り組んでいます。しかし、教科の基礎的基本的な力が身に付いていると実感している生徒は少ない状況です。その原因として、授業の理解が不十分だったり、家庭学習の習慣が身に付いていないことがあげられます。教師の授業改善と生徒の家庭学習の習慣化が大きな課題でした。学校では3年間学力向上を目指した校内研修を行い、本年度は公開研究会を開催するなど「わかる授業」への取組を進めています。昨年と比べると授業のわかりやすさには改善が見られますが、学習習慣の確立や学習意欲面で課題も浮き彫りになっています。学校では、生活ノートの記入や各学年の放課後学習や長期休業中の補習で対応していますが、家庭での学習習慣の確立には保護者の姿勢も不可欠で重要な要因です。

「子どもの学習」を支援するために、家庭の学習環境にも気を配っていただきたいと思います。

《挨拶と言葉遣い、奉仕の姿勢が培われた》

生活面の調査項目で改善が見られます。初年度から来校者に挨拶をほめられることは多かったのですが、挨拶については、さわやかな挨拶を心がけている生徒の姿が伺えます。また、きまりを守る姿勢についても改善傾向にあります。中学生の時期は心と体のバランスが崩れる時期です。学校教育は知育、徳育、体育をバランスよく培うことが求められます。学力向上のためにも基本的な生活習慣の確立と倫理観を高めることは大変重要になります。清掃や給食当番など奉仕活動で役割を果たしている生徒は、「人の役に立つ」という自信や有用感を持てるようになります。

本校の学校教育目標の「貢献」は社会貢献ができる生徒を育てたいという考えです。生徒会を中心としたあいさつ運動や清掃ボランティアが、生徒の心に人間として大切な心を育てているようです。

《開校の理念や学校教育目標が意識されてきた》

開校初年度から生徒会が企画してきた学校行事は生徒中心に活発に行われており、生徒に達成感が生まれているようです。開校3年目の今年は、校歌を作詞作曲されたVoiceに、全校生徒による校歌の2部合唱をプレゼントしました。

また、常任委員会活動も概ね生徒主体で運営されています。ただ、学級会における話し合い活動に課題があります。

学校では、学校行事だけではなく日常の常任委員会活動を大切にすることにより、集団の中で一人ひとりの役割を自覚させて、生徒の人間性に幅を持たせることが重要と考えています。

《学校は楽しい！「いじめ」はしない、させない》

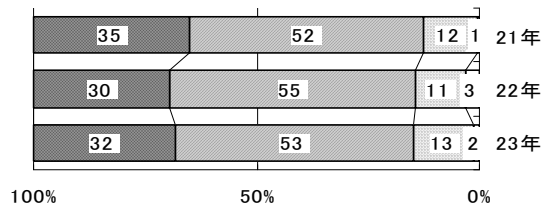
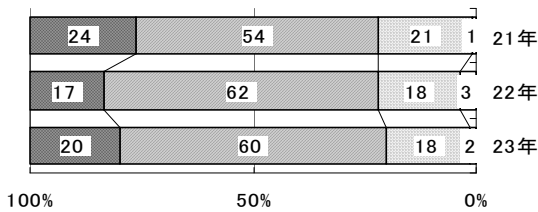
生徒が学校における毎日の生活を楽しく過ごすことは、学校の教育活動の可否を左右する重要な要因です。学校生活の楽しさを実感している生徒が減少していることは、大きな課題と受け止めています。来年度から新しい学習指導要領が全面実施され、学習する内容も多くなってきます。学習を含めた教育活動全般で生徒が達成観を得られるような取組が重要だと考えています。「いじめをしないさせない」ことを心がけている生徒が多いことは、本校の生徒のモラルの高さの表れです。学校では、定期的にいじめアンケートを実施するとともに、担任による教育相談を行い早期発見や解決に向けた対応に心がけています。学校には「心の教室相談員」もあり、生徒の悩み相談を受け付けています。保護者の中で相談を希望される方は、担任までご連絡ください。

平成23年度学校評価（保護者）調査結果

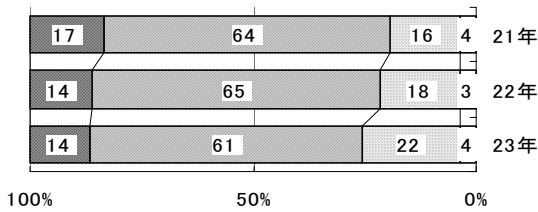
11月末に実施した学校評価の結果についてお知らせいたします。保護者アンケートの回収率は79.13%となり、特に3年生の回収率が高く83.2%でした。この数値は他校の回収率と同程度であり、昨年度より上昇の傾向が伺えます。開校初年度の回収率と同程度であり、開校3年目の今でも、学校に対する関心や期待の高さを感じ、身の引き締まる思いです。保護者の皆さんのご意見等を集約しましたのでご覧ください。

学校では、職員による年度末反省会議を開催し、保護者・生徒及び学校評価委員会の調査結果を分析し、新年度計画に生かす考えです。

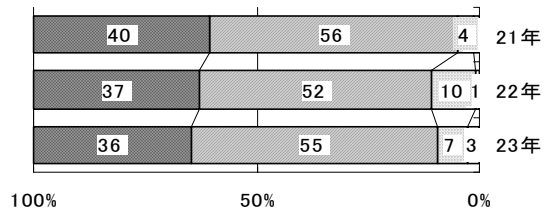
1. 開校に当たって、生徒の学校づくりの意識は高まっている。 2. 学校（学級）だより等を通じて、生徒や学校の様子を知ることができる。



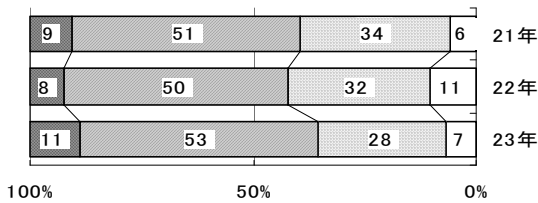
3. 学校は保護者の願いや期待に応えている。



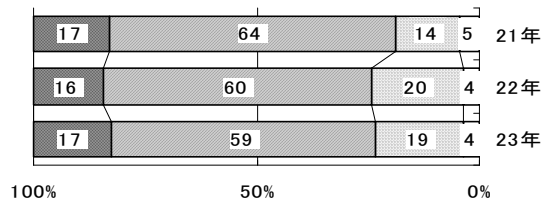
4. 学校行事や参観日・家庭訪問などの時期や回数は適切だと思う



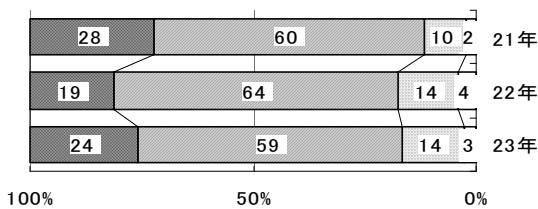
5. 教科指導はわかりやすく、個にあった指導に力を入れている。



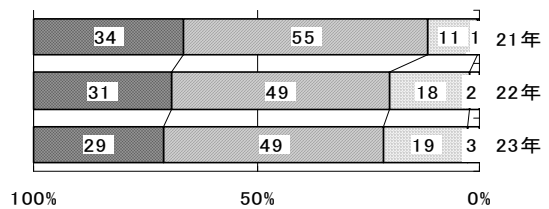
6. 通知表の評価は、個の励ましとなる評価になっている。



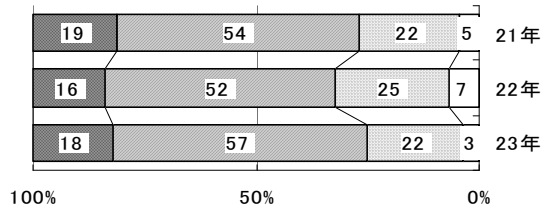
7. いのちの授業・防犯教室・非行防止教室は生徒の健全育成に役立っている。



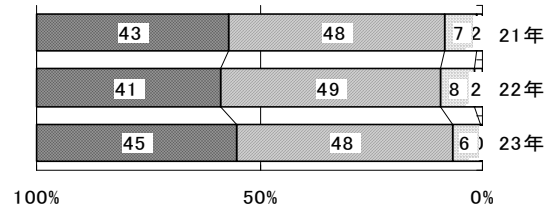
8. 朝読書は図書に興味を持ち、進んで読書活動をする態度を育てている



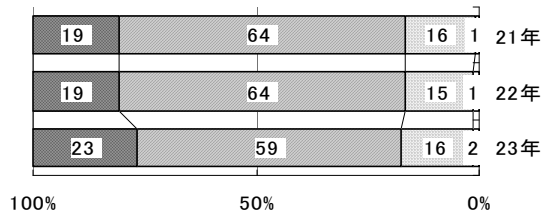
9. 不審者情報など、生徒の安全確保のための対策がとられている。



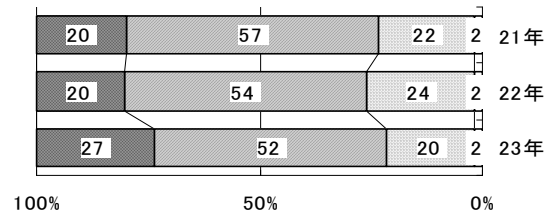
10. 体育大会・学校祭等は生徒が主体的に運営し、実施されている



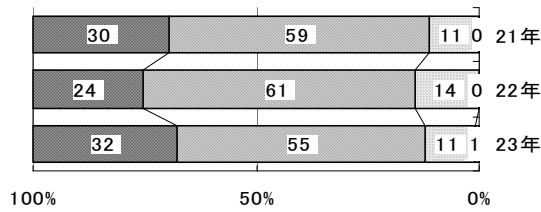
11. 生命や人権を尊重する意識や態度が育っている。



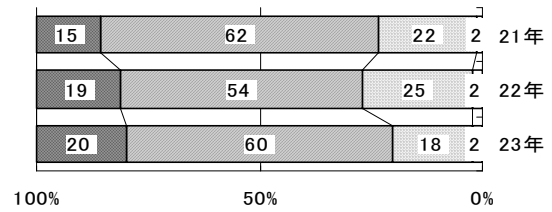
12. 家庭内外を問わず、挨拶の習慣が身に付いている。



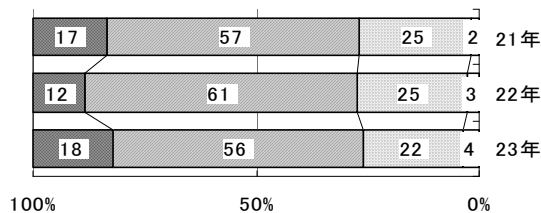
13. 善悪の判断ができ、自分を大切にしている。



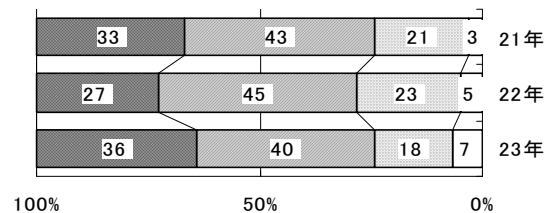
14. 場所・相手等を考え、適切な言葉遣いが身に付いている。



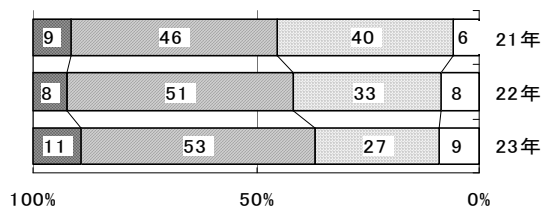
15. 指示なしでも自分の意志で行動できるようになってきた。



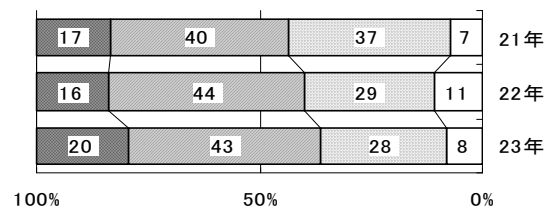
16. 学校の様子などよく話してくれる。



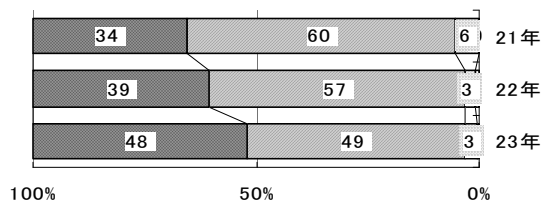
17. 各教科の基礎的・基本的な学力が身に付いてきた。



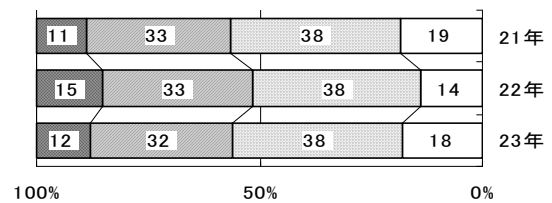
18. 自ら進んで学習に取り組む姿勢が見られるようになってきた。



19. 子どもとの会話に心がけ、子ども理解に努めている。



20. PTA活動や学校行事にはよく参加している。



《保護者の期待に応える魅力ある授業が課題》

草創期の青翔中学校に対し、保護者・地域の皆さんに継続して多大なご協力及びご支援をいただき、深く感謝します。

学校だよりは今年度紙面を大きく変更し、内容の精選・充実に努めました。学校行事や参観日、家庭訪問の時期や回数については、今年度の学校祭が平日開催だったことで厳しいご意見もありました。暦の上で3年生の学力テストとの関係や近隣校の学校祭の関係でした。学校祭や体育大会には多くの保護者の皆さんに参観をいただき、よい評価をいただきました。地域参観日も設けて学校を開いていますが、参観者数を増やすことが出来るような日程の組み方などを考えたいと思います。

教科指導に対する厳しい評価をいただきました。学力向上には生徒の学習習慣の確立や学習意欲の向上、わかる授業を行うなど教科指導を充実させることが重要です。学校では校内研修等で教師の授業力の向上に努めるだけでなく、長期休業中の補習や放課後学習会等、基礎学力の向上に努めていますが、学習習慣の確立などは学校と家庭が協力して指導にあたる必要もあります。学校と家庭が信頼関係を結んで、生徒を支援していくことが最も重要と考えています。

昨年度より実施している朝読書には、本に親しむ機会を得ることに併せて、落ち着いた生活習慣の確立等の成果も現れています。但し、授業時数の増加に伴い、来年度の朝読書のもち方については検討しています。3年間変わらずご支援をいただいた図書ボランティアの方々に深く感謝いたします。

生徒の安全対策については、不審者情報の扱いや生徒の対応について一部要望や意見をいただいております。中学校では集団下校などの措置がありませんので、必要に応じて登下校の指導や巡回を行っています。市教委指導室や苫小牧警察署と連携しながら対応しています。

「いのちの授業」「携帯安全教室」「非行防止教室」など警察官や助産師を招いた授業を3年間継続して行っています。特に本校の携帯電話の所持率は高いため、「携帯安全教室」については全校生徒を対象に実施するとともに、本年度は校区連の講演会でも子どもを守るという視点で講師を招いて講演会を開催しています。

《学習習慣の確立・基礎学力の定着に不安》

基本的な生活習慣の定着については、昨年度より改善の傾向が見られます。特に適切な言葉遣いや生命や人権を尊重する態度に改善傾向を感じています。

自主的に学習に取り組む姿勢や基礎学力の定着については、二極化の傾向が見られます。昨年度と比べると、進んで学習に取り組む姿勢や基礎的基本的な学力の定着については改善傾向が見られます。

生徒の学習に向かう意欲は高い状況ですが、学習方法の工夫や家庭での学習環境の改善等、学力向上に向けて、学校と家庭が連携して子どもたちの未来への責任を果たすことも重要です。

最後にPTA活動は、自分の子どもだけでなく学校の子も達全体の活動を高めるための活動です。本校の学校目標には「貢献」があり、保護者の社会貢献を促す意図があります。是非、何か一つは学校全体の活動に貢献していただくようお願いいたします。

《自由記述欄 保護者の声より》

自由記述欄に多くの方々から、学校に対するエールや賞賛の言葉、また厳しい不満やご意見もいただきました。今後、学校を運営する中で参考にしたいと考えています。ただ、無記名で感情的なご意見をいただいても、趣旨が理解できないこともありますのでご了解ください。ここでは、複数の方からいただいたご要望にお答えをいたします。

・「教師の指導に偏りを感じる」「生徒の授業態度が悪い」「指導不足」など

厳しい意見をいただきましたが、教職員全体で保護者の声を受け止め、研修や年度末反省に生かします。生徒の自主学習の姿勢や家庭学習の習慣化など、学力向上については家庭と連携しながら進めていかなければならないと考えています。今後も学校行事や懇談会には多くの方に参加していただき、声を聞き、本校の教育活動に生かすよう努力していきたいと思います。進級に当たって、混乱が生じないよう2年時への進級はクラス替え、修学旅行や進路などへの対応が必要な3年時への進級はクラス替えをしない方向ですのでご理解ください。

・部活動の再登校については、複数の方からご意見をいただきましたので、継続して検討していきます。